

コロナでも 変わらぬ習慣 がん検診

2021年度がん征圧スローガン

精密検査を受ける。これに尽きます。生活習慣の悪いところは改善し、一緒により良い青森県を目指しましょう。

中路 青森県では働き盛りの40、50代のがん死が多いので、受診控えの影響が非常に心配です。がんを見つける大切な機会を逃さないよう、特に、昨年受診しなかった人は必ず今年受けていただきたいです。検診会場では「三密」の回避に加えて、消毒やマスク着用、

宮頸がんはワクチンと検診が予防の両輪ですが、検診受診率も低迷しており、対策が急がれます。

会健やか力推進センターが中心となり、QOL健診（啓発型健診）を進めています。病気の判定だけでなく、野菜の摂取量やおなかの脂肪、足の筋肉量など生活に関わるデータをその場で出して自分の健康について知識をつけてもらい行動の変容を促す取り組みです。

人との間隔を開けて仕切りを設けるなど感染症対策万全です。全国的にも検診施設で感染者が出た例はありませんので、安心して来てほしいです。

中路 青森県には健康経営認定制度があり、要件の一つに「がん検診の受診勧奨及び勤務時間内にごん検診を受診できる体制の構築」があります。まだ不十分です。従業員の皆さんが、きちんとがん検診を受けられるようにしていきたいです。

高木 生活習慣の改善は、脳卒中や心疾患の予防にもつながるので、禁煙、肥満対策をさらに推進します。また、糖尿病は歯周病に大きな影響があるとされることから、

ー今後のがん対策について。

高木 がん検診には、市町村が高齢者など地域住民を対象に行うものと、職域健診のがん検診は法律で義務付けられているものではなく、実施は企業によってまちまちです。働き盛り世代の受診率をどう上げるか、非常に大事な課題です。

医師歯科連携で対策に取り組みます。併せて医療機関や患者らで構成する青森県糖尿病対策推進会議のもと、啓発活動もしていきたいです。

高木 ヒトパピローマウイルス（HPV）による子宮頸がん、ヘリコバクター・ピロリによる胃がんなど、予防できるがんの対策も重要です。HPVはワクチン接種により感染予防できますし、ピロリ菌は薬を飲んで除去できます。子

中路 健康に関心がない県民もいますので、ヘルスリテラシー（健康教養）の向上が不可欠です。私が所長を務めている青森県医師

中路 糖尿病とがんを併発する患者さんも多いので、糖尿病対策は、がん予防にもつながると思います。がんは、早期発見・治療が重要。検診を受けて、異常があったら、



青森県医師会 高木 伸也会長

9月 がん征圧月間特集

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、受診控えが広がっています。コロナ禍であってもがん検診は重要である事を知っていただきたく、「コロナ禍のがん検診」をテーマとし、座談会を行いました。

当センター 中路重之理事長と青森県医師会高木伸也会長に、東奥日報社清藤敬論説編集委員長をコーディネーターとして、がんの現状、がん対策等をご説明いただきました。

今回は一部内容をご紹介します。

※対談の内容は、ホームページ「WEB東奥」内、「9月は「がん征圧月間」をご覧くださいませ。

(閲覧期間：11月30日迄)

1 がんによる死亡について。

中路 がんは日本人の死因第一位です。厚生労働省が発表した2020年の人口動態統計（概数）によりますと、37万8356人が、がんで亡くなっています。およそ3.6人に1人の割合です。

高木 青森県でも、死因の第一位はがんでした。20年県人口動態統計（概数）では、1万7905人が亡くなっていますが、そのうち、がんで亡くなったのは4988人でした。全死亡数の27.9%ががんでした。全国と同じように、およそ3.6人に1人です。青森県がん登録報告書によりますと、がんの部位別の死亡順位は、男性では肺がんで亡くなる人が一番多く、大腸がん、胃がんと続きます。

女性では大腸がんが一番多く、肺がん、膵臓がんとなっています。男女合計ですと、多い順に肺がん、大腸がん、胃がんとなっています。1 がん検診の受診状況は。

中路 新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、全国的にがん検診を控える動きが見られました。2020年は、がん検診を受けた人が前年より30.5%減りました。当健診センターでも20%弱の減少でした。受診控えが続きますと、がんの発見が遅れたり、近い将来、進行がんとなって発見されたりするケースが増える恐れがあります。高木 国が定めるがん検診の対象となる五つのがん（胃がん、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん）



青森県総合健診センター 中路 重之理事長

は、早期のうちに発見して適切な治療を施せば、確実に生存率が上がります。しかし受診が遅れ、がんが進んでしまうと、命を救うことが難しくなってしまうます。定期的に検診を受け「精密検査が必要」と言われたら臆せず受診してください。青森県医師会では、県をはじめ市町村や医療機関と連携して、多くの人ががん検診や各種健診を受けていただける環境を整備することを目指しています。

コロナ禍のがん検診